

ラーニング・アドバイザーがおすすめる…

文献管理の方法

EndNote Basic の使い方



レポートや卒業論文のためにせっかく調べた資料がどこかにいってしまっただ…

このあいだ調べた資料って何だったっけ…



参考文献をいちいち打つのが大変…

こんなことないですか。

特に、上級生になって、レポート課題や研究が本格化してから出てくる悩みだと思います。文献を集めずして、しっかりしたレポート・論文は書くことはできませんが、文献が膨大になりすぎるとその管理に困ることがよくあります。そんなときに、効力を発するのが**文献管理**です。ここでは文献管理法の1つとして、和大学生なら誰でも無料で使える EndNote basicを紹介します。

発行：2017.12

和歌山大学図書館

作成：ラーニング・アドバイザー
(教育学研究科)

1. EndNote basic の登録方法

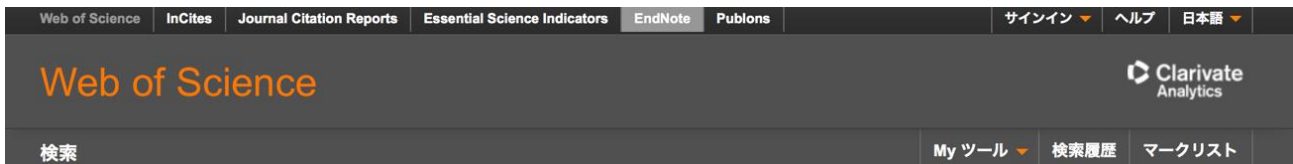
◆ ユーザー登録

① 学内ネットワークから、和歌山大学図書館の HP にアクセスし、「資料案内」⇒[オンラインデータベース]へと進みます。

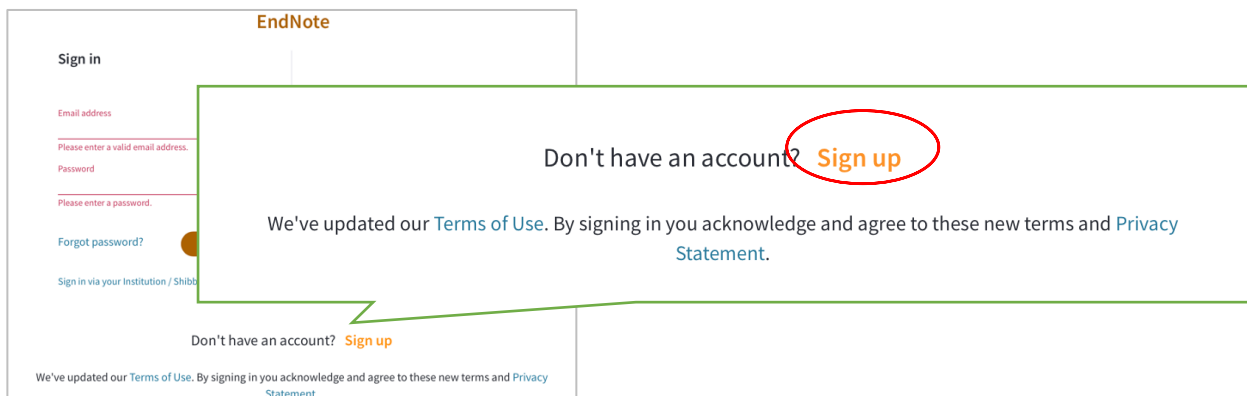
※ ユーザー登録時のみ学内端末からアクセスしてください。



② [オンラインデータベース]中段の Web of Science にアクセスし、画面上部の[EndNote]というリンクをクリックします。



③ [EndNote]をクリックしたら開く画面で、[Sign Up]をクリックし、必要情報を登録します。



2. CWYW(Cite While You Write)のインストール

- ◆ アカウント登録が済んだら、まず行うのが、CWYW(Cite While You Write)プラグインのダウンロード・インストールです。
- ◆ CWYW プラグインを予めインストールしておくで、各種文献検索ツールから直接 EndNote basic にデータを取り込むことができます。
 - Word で文章を書きながら、引用や文献リストの自動作成が可能です。
- ◆ EndNote basic 画面で「ダウンロード」をクリックして、自分のパソコンに合ったプラグインをダウンロード、インストールしてください。

Thomson Reuters

EndNote™ basic マイレファレンス 収集 構成 フォーマット 一致 オプション **ダウンロード**

CWYW (Cite While You Write)™

EndNote プラグインを使用すると、Word で論文を執筆している間に、自動的に引用文献を挿入してフォーマットします。また、この EndNote プラグインは、Windows の Internet Explorer にて、オンラインレファレンスをライブラリに保存することもできます。

U.S. Patent 8,082,241

インストールガイド と システム要件 を確認してください。

Internet Explorer のプラグインを使用して **Windows 版をダウンロード**
大量のプログラムインストール用に **Windows MSI ファイルをダウンロード**
Macintosh 版をダウンロード

取り込み: レファレンスを取り込み

取り込みツールをインストールするには、**レファレンスの取り込み** ボタンをブックマークバー（お気に入りバーやブックマークツールバーと呼ばれることもあります）にドラッグします。一部のブラウザでは、右クリックして [お気に入りに追加] または [このリンクをブックマーク] を選択する必要があります。

ツールを使用するには、取り込むページに移動してブックマークツールバーの**レファレンスの取り込み** ボタンをクリックし、[レファレンスの取り込み] ウィンドウの説明に従います。

- ◆ ここまでの作業で事前準備は終わりです。

☞ Tips

本パスファインダーでは、EndNote basic を用いた文献整理法を紹介していますが、こうした大学生に必要とされる「リサーチリテラシー」に関する書籍は多く出版されています。

例えば、

『大学生のためのリサーチリテラシー入門』山田剛史・林創 著
(配架場所：2F・学修・キャリア支援資料 請求番号：377.15||YT 書誌ID：1000408148)

は図書館にも配架されており、「入門書」としてオススメです。

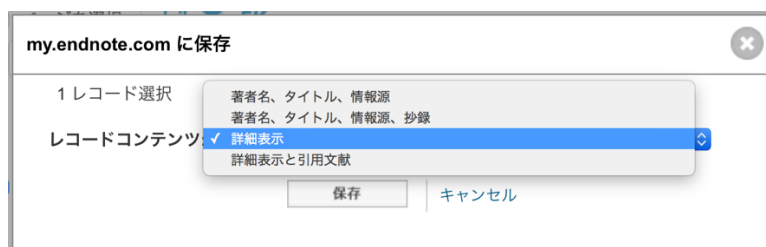
3. 文献情報の取り込み方：Web of Science の場合

◆ Web of Science から文献情報を取り込むことができます。

- ① Web of Science で検索し、取り込みたい文献が見つかったら、その文献にチェックを入れます。



- ② 画面上の[EndNote online に保存]をクリックすると、[my.endnote.com に保存]が開くので、ここからレコードコンテンツ（どの項目を保存するか）を選択してください。推奨は「詳細表示」です。

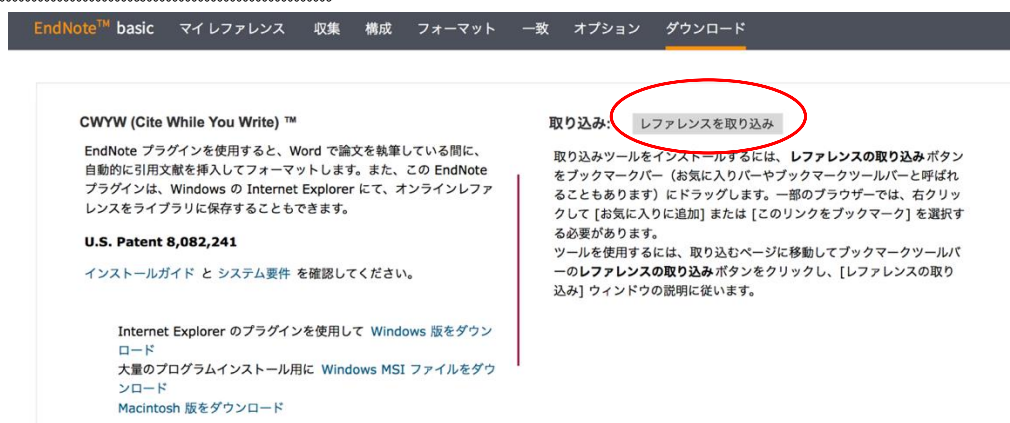


- ③ 文献の取り込みが終わり、EndNote basic の[マイ レファレンス]を確認すると、取り込んだ論文等が表示されます。

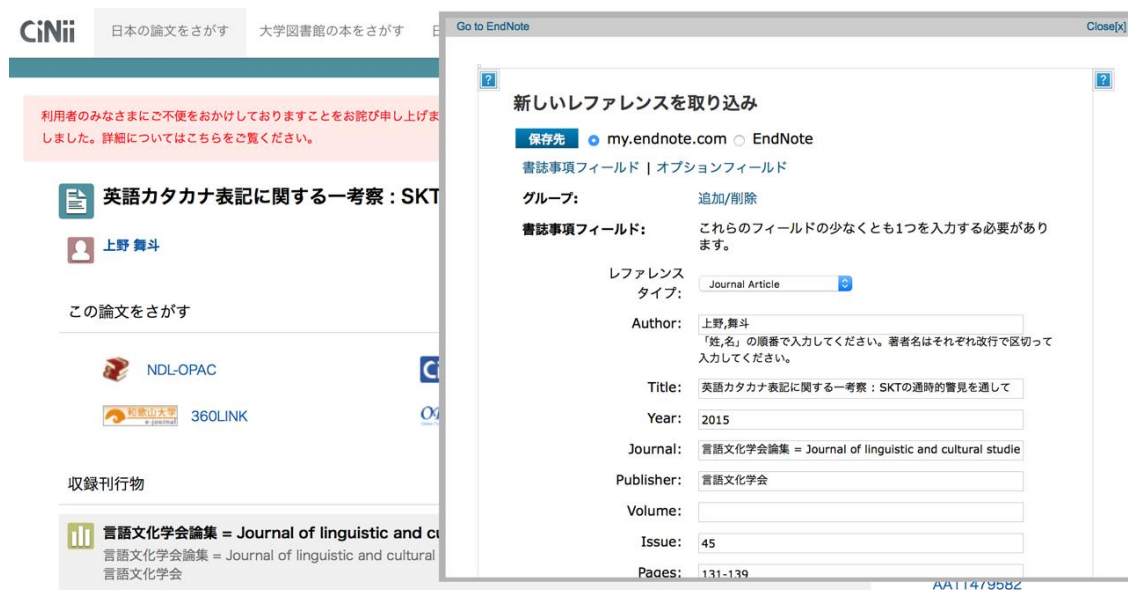


4. 文献情報の取り込み方：CiNii の場合

- ◆ 国立情報学研究所学術情報ナビゲータ (CiNii) から文献情報を取り込むことができます。
 - ① 事前準備として、EndNote basic の[ダウンロード]をクリックして、[レファレンスを取り込み]をお気に入り登録します。



- ② CiNii で取り込みたい論文等が見つければ、その詳細ページを開いて、①でお気に入り登録をした[レファレンスを取り込み]をクリックします。



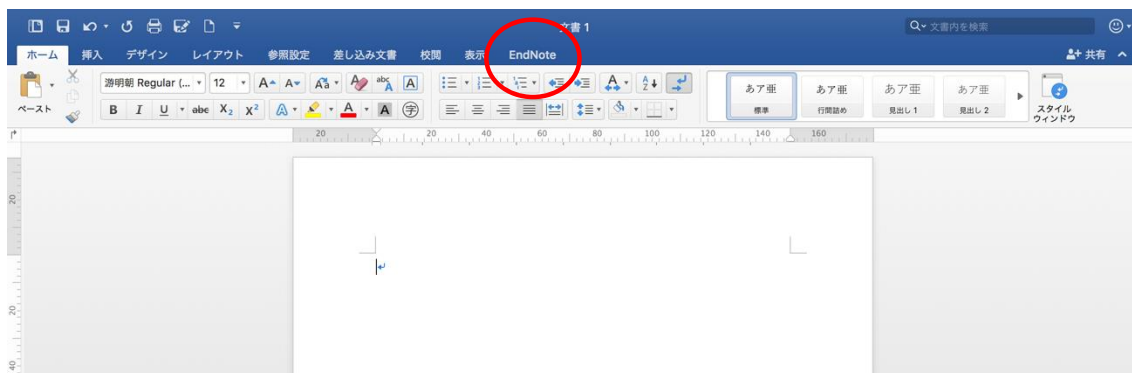
- ③ [新しいレファレンスを取り込み]に書誌情報が自動入力されるので、これらの情報に誤りがないことを確認したら (誤りがあれば、手動修正), [保存先]をクリックして、取り込み完了です。

- ◆ 文献の取り込みが終わり、EndNote basic の[マイ レファレンス]を確認すると、Web of Science のときと同じように、取り込んだ論文等が表示されます。

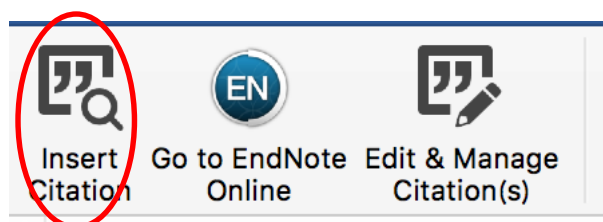
5. 参考文献リストの作成方法

◆ 第2章で紹介した CWYW プラグインをインストールすることで、Word で文章を書きながら、引用や文献リストの自動作成が可能になります。

① Word 上のリボンにある[EndNote]をクリックします。



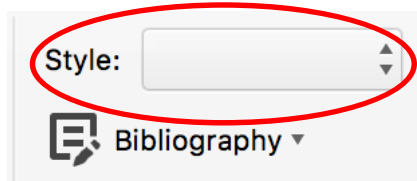
② [Insert Citation]のアイコンをクリックします。



③ ヒットした文献情報が表示されるので、引用挿入する文献情報を選択し、画面下部の[Insert]をクリックします。

◆ 文献情報の書き方は、その専門分野、論文の投稿先等によって様々です。ここでは、こうした様々なスタイルを選択する方法を紹介します。

① Word 上のリボンにある[EndNote]→[Style]ボタンをクリックします。



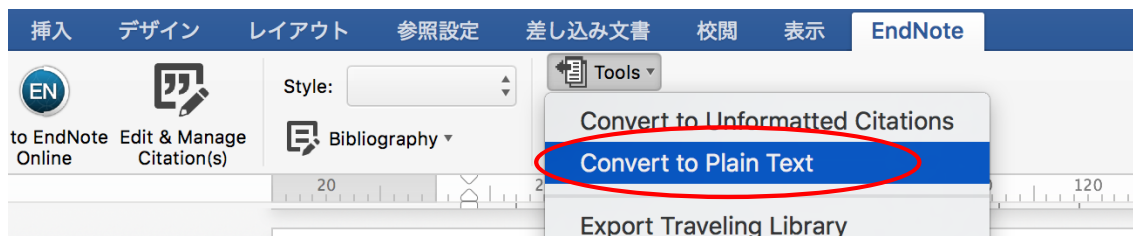
② プルダウンからスタイルを選択します。

※希望するスタイルがない場合は、選択肢の一番上の[Select Another Style]を選択します。

- ◆ EndNote から出力された文字は、手動修正を加えても、EndNote の機能で元に戻ってしまいます。これを編集したければ、プレーンテキスト (plain text) に切り替える必要があります。

① 文書ファイルを保存します。

② [EndNote]→[Tools]→[Convert to Plain Text]を選択します。



③ 出現する画面で[OK]を選択します。

④ EndNote との連携が切れた文書ファイルが新規作成されるので、これを新規保存します。

※ 連携ファイルも念のため保存しておきます（上書き保存しない）。

6. まとめ

- ◆ EndNote basic を使うことで、オンラインデータベース（Web of Science, CiNii, 大学図書館 OPAC など）から必要な文献を取得し、PDF など各種ファイルとその文献情報を一元管理することができます。また、こうした文献情報は、様々な規定スタイルに沿った形式で Word に出力可能で、皆さんの論文・レポート執筆の助力になることでしょう。

- ◆ ここでご紹介したことは、あくまで「入門編」です。他に何かわからないことがありましたら、ラーニング・アドバイザーにお気軽にご相談ください。

★本文中で紹介されている図書の探し方★

和歌山大学図書館トップページの OPAC 検索画面に、10 桁の書誌 ID を入力して検索してください。

<http://www.lib.wakayama-u.ac.jp>



和歌山大学図書館